

# ようこうだより **2023年度**



**共同生活援助事業所がじゅまる**

**2023.10.1開所**

One team  
for the future  
on the community



## 館 邑 会

### 理事長挨拶

常日頃私ども法人に対し多大な御支援御協力を賜りまして感謝申し上げます。

本年7月先代山川より理事長職を引き継がせていただきました。変わらぬ御指導をお願いいたします。

今まで同様、地域の方々と共に住みやすい福祉社会を実現出来る様法人運営をして参ります。

この10月に共同生活援助事業(グループホーム)がじゅまるをオープンさせて頂いた頂きました。また、この事業所の定員を来年4月に増やすために準備も進めているところです。それでも、邑楽館林地域における障がい者を取りまく環境は、決して充分とは言えません。利用者の気持ちに

寄り添い、社会生活環境を向上させるよう整備していききたいと考えております。

事業所もコロナ禍で以前から比べて、思うようなサービスを提供できておりませんが、5類移行に伴い正常化に戻りつつあります。

今後、支援いただいている方々地域の方々との交流やふれ合い事業等も実施出来たらと考えております。

最後に、当法人に対しまして御指導御鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。



理事長 山本 樹

## 様々な変化ととまじり...

### 陽光園

今年度、陽光園は3つの活動班を6つのグループに分けました。利用者様にとって刺戟となる物を減らし、落ち着ける空間を整えるために、物の配置や所属グループの見直しなど、利用者様ひとり一人の個性や相性などにも目を向けながら検討を重ねました。

そして、より快適に過ごせる環境作りを目指しての「変化」です。そこで活動する利用者様への思いを漢字一文字に込めて、「楽」「詩」「咲」「陸」「望」「暖」としました。また、今年度は新規の利用者様が増えている、これも「変化」の一つです。

陽光園での活動には作業も取り入れられていて、作業で得た収入は毎月の工賃として

利用者様に支給されます。そこにも「変化」がありました。今まで行ってきた作業に加えて、ネジの袋分け作業にも取り組むことになりました。作業を提供してくださったっている関係の皆様には、心から感謝を申し上げます。

これからも様々な「変化」していく陽光園ですが、変化とともに、そして利用者様の「安心・健康・笑顔」のために、職員一同努めていきたいと思っております。

主任 生活支援員

勤続12年 新井 孝明



## 生活の変化

### 第二陽光園

平成8年に開所した第二陽光園も、今年で27年という歳月が経ちました。27年という時間の流れは、利用者さん、保護者の皆さんにとっても大きなものだったと思います。

去る10月1日、共同生活援助がじゅまるが開所しました。この事業展開については、第二陽光園始まって以来の大きな出来事だと思えます。男性利用者9名が新しい生活の場へ移行したことによる、「男性棟の個室化」も利用者さんにとっては大きな変化だと思います。

今後の第二陽光園は、利用者の皆さんそれぞれに特別な配慮、環境整備、継続的な支援がより一層必要となります。その為、生活を支える私たち

は、常に支援の向上を目指し努力していかなくてはなりません。私たち一人ひとりの意識と行動が、利用者さんにとってプラスになるように職務と向き合うことも忘れてはいけないと思えます。

今回の事業展開は、新たな第二陽光園の始まりです。今後も利用者さんの生活が豊かになるように職員一同、利用者さんや支援と向き合っていくしたいと思います。



サービス管理責任者

勤続19年 山岸 小百合

## ふらっぐの日常へ

### ふらっぐ

ふらっぐは今年の10月で15周年を迎えました。この15年の間にたくさんのご協力ご支援があり今があると申しております。現在のふらっぐでは28名の利用者さんが登録しており、その中で平均して23名ほど利用しています。



令和5年5月より新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類へ引き下がりが館林でも七夕まつり・館林祭り等いろいろイベントを再開しています。

ふらっぐではパン店舗での祝日営業を去年より行い、イ

ンスタグラム等活用しており徐々に地域の皆様にご利用して頂いております。また、世の中の物価高騰に伴い全商品価格の値上げ・見直しを行いました。

その他でも今年度より利用者さん皆が楽しみにしているふらっぐ・GOODJOB合同でのお楽しみ旅行も再開します。日帰りでの旅行ですが皆の希望を取り複数に分かれて行っており、作業休憩時や移動時の車内での会話の中で旅行の話を表情良くしている利用者さんもお見受けできてよかったですと心より思いました。

生活支援員

勤続6年 尾形 大地

## あたりまえの日常の大切さ

### てんしゃば

てんしゃばは、来年度で20周年を迎えます。利用者はホームあすかA・B・Cにそれぞれ5名ずつ、ホームそらに4名の方が生活しています。皆さんですが、協力し合って楽しく暮らしています。

今年5月から新型コロナウイルスが5類になり、久しぶりに外出等も緩和され、感染対策をしながらですが余暇活動を楽しめるようになりました。各々の希望が叶うべく、日帰りや一泊での旅行を計画し、遠くは草津温泉へ一泊してきた方もいます。男性利用者のホームそらでは月一回の余暇活動を、4名の利用者と職員で話し合い、行き先を決めています。また、地域に根付いた活動も欠かさず、地域の秋祭り

や市民一斉清掃にも参加しました。緩和されていく中でも、利用者の皆さんが自主的にマスクや消毒、手洗い等を行っています。新型コロナウイルスが流行した事により、利用者にとって当たり前と思っていたホームで生活するということがどれだけ大切なのかを学ぶことが出来ました。今後も優しく温もり溢れるグループホームを目指して、支援し続けたいと思います。

生活支援員

勤続9年 島田知実



## 一歩ずつ…

### ほっぴ

館林邑楽相談支援センターほっとは現在、相談員14名で、児童から高齢の方まで、約八五〇名の相談支援を行っております。日常生活での困り事などの相談を受け、希望する生活に近づけていけるように情報提供や福祉サービスの調整をさせていただいています。計画作成に関わること以外にも一般相談や虐待防止センターとしての役割など相談内容は多岐に渡るため、すべてがスムーズにいくわけではありません。それでも、初めは不安そうな表情で来所された方が、相談を重ねる内に夢や希望を見つけて一歩ずつ歩み始めている姿に出会えると、私達もやりがいを感じる事ができます。

ここ数年の間に館林邑楽地区にも多くの事業所が開所しています。障害を持つ方が住みやすい地域を作っていくことも私達の役割の一つです。そのためにも地域の課題を自立支援協議会で取り上げたり、BCP、基幹相談支援センターの設置に関しても福祉だけでなく、医療や教育など様々な機関と連携を図ることが必要になります。少子高齢化や自然災害などが続く中、不安を抱えながらこの地域で暮らす方にとって、「ほっと」が少しでも安心できる存在になれるように、今後も相談者に寄り添いながら共に歩んでいければと思います。

相談員

勤続4年 金本 志穂

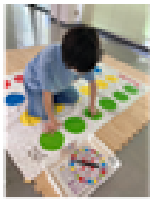
## 最後の夏休み

ういず

「放課後等デイサービスういず」は今年で11年目を迎えました。そして、令和6年3月で閉所という事が決まっています。開所時小学校1・2年生であったお子さん達は、高校生になりました。ういずの11年という月日は、あつという間。でも、お子さん達一人ひとり本当に逞しく素晴らしい成長の姿を見せてくれました。

ういずで過ごす最後の夏休み。毎年恒例の就労体験、外出、かき氷はもちろん、工場見学、パン作り、パソコン教室等々、皆さんの楽しい夏休みのお手伝いが出来たのかなと思っっています。でも実は、一番楽しんでいたのは、職員だったかもしれません。

管理者 勤続27年 新井昭代



## 雨の日も 風の日も

GOODJOB

GOODJOBではダノンチーム、サイドクリンチーム、リサイクルチームの3つに分かれ、清掃活動やリサイクルの為の分別作業、段ボール組み立てや内職等の請負作業を行っています。

屋外での活動が主になっていきますが、暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も対策をしながら作業に取り組んでおります。特に今年は酷暑が続きました。ダノンリサイクルセンターではATR様のご配慮で作業場にお手製のミストシャワーを設置していただきました。おかげで体調を崩すことなく乗り切ることが出来ました。8月には『焼き肉を食べる』という事で3年ぶりにATR様にしたみな太郎でお食事会にも

ご招待いただきました。つつじが岡公園やグラウンドゴルフ場の清掃活動は、ゴミ拾いをしながら除草作業、そして、抜いても抜いてもどんどん生えてくる雑草をめぐずに抜き続けました。今の時期は毎日大量の落ち葉の清掃を行っています。

今年度日帰り旅行を再開することが出来ました。11月から1月までの間に日光や秩父、羽田空港や両国国技館での相撲観戦等の8コースに分かれ、少人数に分かれて日々お出かけされております。食事会など皆さんの励みになるようなことを行っていかれたらと思っています。

職業指導員

勤続16年 江森 蒔

## 新しい船出

## がじゅまる

皆様のご協力を受け賜り、理念「ひとりひとりの福祉(幸せ)、当たり前前の生活を支える」を掲げ10月1日より館邑会の新しい事業として共同生活援助事業所「がじゅまる」は始まりました。

第二陽光園と兼任で携わらせていただいています。

職員は引き続き同じ思いでありますが、満たされた生活が送れる、疲れていても心地よいと感じられる。そして毎日が楽しい、幸せと思える事業所を目指しています。

また、ひとりひとりの安心な暮らしと自分らしさ、人や活動のつながり合いをともに作りたいとも考えています。

利用者の方たちが地域で当たり前に暮らし、地域の一員として共に生き、地域と協力し合えるそんな環境でありたいと思っております。



「がじゅまる」は、第二陽光園ご利用者9名の方たちが移られました。職員も変わらず

サービス管理責任者

勤続23年 飯塚 利幸

## 館 邑 会

## 各事業所長の紹介

### 館 邑 会

事務局長 田中良治 (令和3年4月就任)

陽光園 昭和56年4月

生活介護 定員55名 職員24名

所長 黒田香代美 (平成29年4月就任)

第二陽光園 平成8年4月

施設入所支援・生活介護定員40名

短期入所・日中一時支援

職員43名

施設長 程原一行 (令和3年4月就任)

てんしやば 平成17年2月

共同生活援助 定員19名

職員17名

管理者 木村 孝 (平成29年4月就任)

ほっと 平成19年1月

相談支援事業 職員16名

センター長 仁木紀行 (令和3年4月就任)

ふらっぐ 平成21年10月

就労継続支援B型 定員20名

職員9名

所長 鰐石英男 (令和3年4月就任)

ういず 平成25年4月

放課後等デイサービス 定員10名

職員5名

管理者 新井昭代 (令和4年4月就任)

GOODJOB 平成30年4月

就労継続支援B型 定員20名

職員20名

所長 中村建児 (平成30年4月就任)

がじゅまる 令和5年10月

共同生活援助 定員9名

短期入所定員1名

職員6名

管理者 程原一行 (令和5年10月)

## 研修委員会

今年度は昨年度に引き続き、初任者研修の充実に取り組んでいます。初任者の職員が仕事に慣れてくるタイミングということで今年度は、十月から始めることになりました。人は流されやすいものです。慣れない環境で、慌ただしいとあれば、なおさらです。そんな中でも疑問や悩んでしまう場面が出てきているのではないのでしょうか。

初任者である職員が、日々支援を振り返ったり自分達の仕事について考えたり、また、正しい理解知識を得られるような研修を目指すことがまず大切です。でも、実は取り組む研修委員の成長につながることも大変楽しみです。しているところでもあります。

委員長 新井 昭代

## 苦情解決委員会

館邑会では、年2回第三者委員会を開催しています。苦情受付の報告だけでなく、各事業所における課題、それに対する取り組み状況なども合わせて報告をさせていただいています。また、近年は、各事業所が「ヒヤリハット」や「にやりほつと」の報告も合わせて行っています。

苦情解決の取り組みは、福祉サービスに対する利用者の満足感を高めることや、利用者個人の権利を擁護すること、利用者の福祉サービスの適切な利用を支援することです。私たち館邑会は、障がい福祉サービス事業者の責務を自覚・認識して職員がワンチームになり、その取り組みを着実に一步一步進めています。

委員長 中村 建児

## 危機管理委員会

危機管理委員会は利用者の皆様が安心して地域生活を送り、事業所を利用していただけのような様々な自然災害・感染症対策を講じている委員会です。

近年我々の生活に多大なる影響を与えたコロナを含む感染症対策。地震や風水害が地域で発生した際、利用者・職員の生命を守り、被害を最小限にとどめ、事業所としての活動をいかに継続させていくのか、そうした内容を具体的にまとめたBCPの作成を今年度は活動の軸としています。危機的状況にあっても館林邑楽地区における社会福祉法人として地域の皆様と連携を図り、「地域」を支えていければと考えています。

委員長 程原 一行

## 人権倫理委員会

人権倫理委員会は、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会という二つの役割を持っています。

『利用者の皆さん一人一人の尊厳に基づいた、健康で笑顔あふれる生活が守られるための仕組み』を、館邑会の指針として定めています。各職種が専門性に基づき、チームによる支援を行う事を目指しています。また、研修委員会とも連動し、全ての職員に対して、人権意識、知識や技術向上のための研修をおこなっています。

委員長 遠藤 真由実

## 広報委員会

今年度広報委員会では、各事業所によるインスタグラム投稿による広報活動を継続しておこなってまいりました。その結果、館邑会インスタグラム投稿数が239件、フォロワー数が245件となっております。投稿数が増えてきたことで、より館邑会の魅力を、画像を通してお伝えすることが出来ていると感じております。

まだ館邑会インスタグラムをフォローしていない方はこの機会にぜひフォローをお願いいたします。

委員長 鰐石 英男



## 表彰披露

◇日本知的障害者福祉協会知的障害者福祉事業功労者(20年)

第二陽光園 飯田幸子 生活支援員

◇群馬県知的障害者福祉協会永年勤続表彰(10年)

第二陽光園 斎藤 靖 生活支援員

ふらっぐ 上武克美 職業指導員

ほっと 杉戸由香里 相談支援専門員

ほっと 長沢葉子 相談支援専門員

ほっと 茂木利江子 相談支援専門員

◇群馬県手をつなぐ育成会会長表彰(8年)

陽光園 下山佑介 生活支援員

陽光園 渡邊阿友美 事務員

第二陽光園 三瀬秀明 事務員

GOODJOB 黒田真澄 生活支援員

GOODJOB 塩浦瑞紀 生活支援員

てんしゃば 鰐石由紀子 世話人

## 寄付・寄贈品

期間：令和4年8月～令和5年7月

◇法人本部

山川 博 様

館邑会後援会 様

谷津義男お別れ会事務局 様

館林東ロータリークラブ 様

◇陽光園

館林市手をつなぐ育成会 様

◇第二陽光園

館林市手をつなぐ育成会 様

川島康宏 様

ご厚情に心より感謝申し上げます。

5,000円

150,000円

704,445円

78,000円

210,800円

169,040円

140,000円





# 令和4年度 事業報告

## 1. 役員会等の状況 (書)は書面議決による決済

6月9日 第1回理事会	
	令和3年度事業報告・決算 てんしゃば定員増 職員病気休暇延長について 就業規則・運営規程の変更 定時評議員会開催について
6月24日 第1回評議員会	
	令和3年度事業報告・決算
8月17日 第2回理事会	
	グループホーム取得について 就業規則の一部変更
10月27日 第3回理事会	
	定款細則について 新共同生活援助事業所開所について 基本財産取得の為の資金借入について 第一次補正予算・新事業所当初予算 評議員会開催について
11月7日 第2回評議員会	
	新共同生活援助事業所開所について 基本財産取得の為の資金借入について 第一次補正予算・新事業所当初予算
12月5日 第4回理事会	
	基本財産取得の為の借入について ういずの閉所について

	がじゅまる改修工事について 経理規程・評議員会開催について
12月12日 第3回評議員会	
	基本財産取得の為の借入について 放課後等デイサービスういずの閉 所の件について 基本財産の担保提供について
1月19日 第5回理事会(書)	
	がじゅまる改修工事指名業者選定 定款変更・第二陽光園運営規程の 変更 評議員会(書面)開催について
1月26日 第4回評議員会(書)	
	定款変更
3月9日 第6回理事会	
	第2次補正予算 令和5年度事業計画・当初予算 就業規則の変更・運営規程の変更 陽光園送迎車両の購入について 評議員会開催について
3月22日 第5回評議員会	
	第2次補正予算 令和5年度事業計画・当初予算

## 2. その他会議やイベント

開催日	事業名	内容
8月1日	館邑会後援会(書)	決算・予算、事業報告
11月8日	第三者委員会	ヒヤリハット事項など確認を行った
	秋まつり	～中止～
	新年会	～中止～

# 令和4年度 決算報告

## 資金収支計算書 (自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	53,600,000	52,398,525	1,201,475
		障害福祉サービス等事業収入	711,704,000	718,727,445	△7,023,445
		その他の事業収入	6,543,000	7,840,997	△1,297,997
		経常経費寄附金収入	888,000	1,534,125	△646,125
		受取利息配当金収入	25,000	5,842	19,158
		その他の収入	7,030,000	6,943,116	86,884
		事業活動収入計(1)	779,790,000	787,450,050	△7,660,050
	支出	人件費支出	572,628,000	558,705,894	13,922,106
		事業費支出	87,266,000	84,433,238	2,832,762
		事務費支出	57,133,000	49,601,215	7,531,785
		就労支援事業支出	53,600,000	50,833,290	2,766,710
		支払利息支出	105,000	97,935	7,065
		その他の支出	4,100,000	3,719,750	380,250
事業活動支出計(2)	774,832,000	747,391,322	27,440,678		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		4,958,000	40,058,728	△35,100,728	
施設整備等による収支	収入	設備資金借入金収入	35,000,000	35,000,000	0
		固定資産売却収入	0	4,900,000	△4,900,000
		施設整備等収入計(4)	35,000,000	39,900,000	△4,900,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,165,000	876,000	289,000
		固定資産取得支出	69,560,000	58,257,395	11,302,605
		施設整備等支出計(5)	70,725,000	59,133,395	11,591,605
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△35,725,000	△19,233,395	△16,491,605	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	32,369,000	32,790,386	△421,386
		拠点区分間長期借入金収入	16,400,000	16,400,000	0
		拠点区分間繰入金収入	32,470,000	32,469,500	500
		その他の活動による収入計(7)	81,239,000	81,659,886	△420,886
	支出	積立資産支出	9,214,000	9,202,596	11,404
		拠点区分間長期貸付金支出	16,400,000	16,400,000	0
		拠点区分間繰入金支出	32,470,000	32,469,500	500
		その他の活動支出計(8)	58,084,000	58,072,096	11,904
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	23,155,000	23,587,790	△432,790
		予備費支出(10)	0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△7,612,000	44,413,123	△52,025,123	
前期末支払資金残高(12)		368,939,000	400,160,351	△31,221,351	
当期末支払資金残高(11)+(12)		361,327,000	444,573,474	△83,246,474	



# 令和4年度 決算報告

事業活動計算書  
(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	52,398,525	43,491,237	8,907,288
	障害福祉サービス等事業収益	718,727,445	717,443,441	1,284,004
	その他の事業収益	7,840,997	972,000	6,868,997
	経常経費寄附金収益	1,534,125	2,215,300	△681,175
	サービス活動収益計(1)	780,501,092	764,121,978	16,379,114
	費用			
	人件費	558,987,544	523,367,185	35,620,359
	事業費	84,433,238	81,995,934	2,437,304
	事務費	49,601,215	51,676,007	△2,074,792
就労支援事業費用	50,747,984	43,142,854	7,605,130	
減価償却費	21,653,762	23,383,410	△1,729,648	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,763,626	△8,688,825	△74,801	
サービス活動費用計(2)	756,660,117	714,876,565	41,783,552	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	23,840,975	49,245,413	△25,404,438	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	5,842	5,540	302
	その他のサービス活動外収益	6,943,116	5,714,657	1,228,459
	サービス活動外収益計(4)	6,948,958	5,720,197	1,228,761
	費用			
	支払利息	97,935	0	97,935
その他のサービス活動外費用	3,719,750	4,155,700	△435,950	
サービス活動外費用計(5)	3,817,685	4,155,700	△338,015	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,131,273	1,564,497	1,566,776	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	26,972,248	50,809,910	△23,837,662	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	4,455,000	△4,455,000
	固定資産売却益	4,900,000	605,000	4,295,000
	拠点区分間繰入金収益	32,469,500	1,200,000	31,269,500
	その他の特別収益	33,791,482	0	33,791,482
	特別収益計(8)	71,160,982	6,260,000	64,900,982
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	3	△3
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	4,455,000	△4,455,000
	拠点区分間繰入金費用	32,469,500	1,200,000	31,269,500
特別費用計(9)	32,469,500	5,655,003	26,814,497	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	38,691,482	604,997	38,086,485	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	65,663,730	51,414,907	14,248,823	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	411,689,897	375,305,050	36,384,847
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	477,353,627	426,719,957	50,633,670
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	31,869,500	0	31,869,500
	その他の積立金積立額(16)	8,000,060	15,000,060	△7,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	501,223,067	411,719,897	89,503,170

貸借対照表  
令和5年3月31日現在

(単位: 円)

資産の部	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	488,891,209	431,772,428	57,118,781	流動負債	47,379,210	31,254,858	16,124,352
現金	600,000	600,000	0	事業未払金	27,057,408	14,998,276	12,059,132
預金	360,618,437	308,839,969	51,778,468	1年以内返済予定設備資金借入金	3,504,000	0	3,504,000
事業未収金	115,530,247	110,294,240	5,236,007	預り金	35,734	0	35,734
原材料	442,525	357,219	85,306	職員預り金	6,782,068	6,256,582	525,486
前払金	1,700,000	1,681,000	19,000	拠点区分間借入金	10,000,000	10,000,000	0
拠点区分間貸付金	10,000,000	10,000,000	0	固定負債	144,018,483	96,716,843	47,301,640
固定資産	641,226,528	589,904,095	51,322,433	設備資金借入金	30,620,000	0	30,620,000
基本財産	365,086,006	300,310,698	64,775,308	拠点区分間長期借入金	103,262,783	86,862,783	16,400,000
土地	120,028,275	95,028,275	25,000,000	退職給付引当金	10,135,700	9,854,060	281,640
建物	238,016,316	196,458,534	41,557,782	負債の部合計	191,397,693	127,971,701	63,425,992
建物付属設備	7,041,415	8,823,889	△1,782,474	純資産の部			
その他の固定資産	276,140,522	289,593,397	△13,452,875	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物	23,564,801	24,470,500	△905,699	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物付属設備	3,628,999	5,337,235	△1,708,236	国庫補助金等特別積立金	158,247,632	178,866,140	△20,618,508
構築物	776,139	942,177	△166,038	国庫補助金等特別積立金	158,247,632	178,866,140	△20,618,508
機械及び装置	5,613,891	6,084,138	△470,247	その他の積立金	110,676,720	134,546,160	△23,869,440
車両運搬具	9,490,837	13,436,923	△3,946,086	移行時特別積立金	27,086,000	42,555,500	△15,469,500
器具及び備品	4,404,479	3,013,783	1,390,696	施設整備積立金	63,500,720	71,900,660	△8,399,940
建設仮勘定	2,904,000	2,904,000	0	人件費積立金	15,500,000	15,500,000	0
リサイクル預託金	347,680	339,010	8,670	修繕費積立金	4,590,000	4,590,000	0
権利	607,158	619,715	△12,557	次期繰越活動増減差額	501,223,067	411,719,897	89,503,170
ソフトウェア	757,335	1,182,913	△425,578	次期繰越活動増減差額	501,223,067	411,719,897	89,503,170
拠点区分間長期貸付金	103,232,783	86,862,783	16,370,000	(うち当期活動増減差額)	65,663,730	51,414,907	14,248,823
退職給付引当資産	10,135,700	9,854,060	281,640				
移行時特別積立	27,086,000	42,555,500	△15,469,500				
施設整備積立資産	63,500,720	71,900,660	△8,399,940				
人件費積立資産	15,500,000	15,500,000	0				
修繕費積立資産	4,590,000	4,590,000	0				
資産の部合計	1,130,117,737	1,021,676,523	108,441,214	負債及び純資産の部合計	1,130,117,737	1,021,676,523	108,441,214

# 苦情処理結果報告

令和4年10月1日～令和5年9月30日現在

事業所名	苦情件数
陽光園	2
第二陽光園	0
ふらっぐ	0
GOOD JOB	0
ほっと	0
ういず	0
てんしゃば	0

## 社会福祉法人館邑会の役員

### 1. 評議員

前山秀樹(善長寺住職)  
安楽岡信子

三田正信(館林市社協長)  
峯崎俊雄(板倉町社協長)  
立木留吉(明和町社協長)  
森田 榮(千代田町社協長)  
岩瀬寿夫(大泉町社協長)  
内田雅行(邑楽町民生委員・  
児童委員協議会長)

### 2. 理事

山本 樹(理事長)  
太田敏雄  
山川 博  
多田征訓  
大竹喜代子(邑楽町教育委員会  
外部評価委員)

### 3. 監事

神長泰弘  
栗原則雄

大谷 恵  
黒田香代美(陽光園管理者)

## 第三者委員

田中美喜雄  
平野一男(司法書士)  
橋本宏海



### 編集後記

今年も無事にようこうだよりの編集を終えることができ、一安心です。コロナも5類になり、日帰り旅行やキッチンカー、外食なども少しずつ再開し始めました。まだまだコロナ前には及びませんが・・・職員も一緒に楽しめることが増えたんだと編集していています。

(A、W)

よようこうだよ

令和五年号

編集・発行 社会福祉法人 館邑会

〒370-0614 群馬県邑楽郡赤堀八三六の一

<https://kanoukai.jp>

本部

TEL:0276-89-0600

FAX:0276-88-6930

mail:info@kanoukai.com